

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	福島っ子松本留学支援事業		
事業主体 (連絡先)	NPO 法人まつもと子ども留学基金 事務局 中野瑞枝 (電話 080-3327-5027)		
事業区分	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業		
事業タイプ	ソフト・ハード		
総事業費	1,099,800 円	(うち支援金:	744,000 円)

事業内容

1、留学子ども寮運営事業

東日本大震災で被災した福島の子どもを受け入れ、安心して暮らし地元の学校へ通学できるよう、過疎化が進む松本市四賀地区空き家を借りた。使用不可能になっていた水周りを修理したり、子どもの学習室を整備した。

2、地域交流事業

寮に住む子どもたちと地域の皆さんとの交流が促進されるように健康講座を主催した。



【健康講座】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

① 空き家になっていた民家を借り、改修したことにより快適な住環境が得られ、子どもたちが安心して生活することができた。

②と③ 地域の皆さんが食事作りに来てくださったり、行事に誘ってくださったりして、交流するうちに、理解や支援が増え、子どもたちが安心して、元気に通学できるようになった。

また、健康講座などを通して、体調管理にも気を配り、冬季も健康に過ごすことができた。

④ に関してはこれからの課題です。

【目標・ねらい】

- ① 震災で被災した子どもたちが安心して生活すること
- ② 子どもたちが元気になること
- ③ 過疎地域の活性化をはかること
- ④ 被災地の復興に貢献できる人材を育成すること

※自己評価 【 B 】

【理由】

概ね予定を上回る効果が得られたが、④について課題が残ったため。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・被災地の子どもたちが親と離れて元気に過ごすためには、地域住民の協力が不可欠である。引き続き住環境の整備を進め、受け入れる子どもを増やしていき、地域住民と交流をはかりたい。
- ・子どもたちが元気になることによって、被災地の親たちが地域へ移住するモデルケースを作りたい。
- ・被災地の復興に貢献できる人材育成をはかるための勉強会などを企画したい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある